

Hikari High School Alumni association

光潮会報



山口県立光高等学校

光潮同窓会

第68号

平成27年8月

も く じ

「お前は お前のままでいいんだよ」	守 田 義 昭	3
魅力ある学校づくりに向けて	河 口 郁 史	4
関東支部から	藤 井 政 道	5
光潮同窓会関西支部の現況と展望	田 村 周 治	6
礎に感謝 そして未来へ	松 並 宏 昌	7
「教師になって子どもたちに		
走る楽しさを伝えるのが夢でした」	濱 田 真 由 美	8
県立光中学校へ入学して七〇年	佐 伯 亮 二	12
光潮同窓会ホームページ立ち上げ		13
部活動の足跡		14
大学・短大等の合格者数 (過去六年)		21
就職状況		23
光高校歌・室女校歌みたらい学園歌・光中校歌		24
平成 27・28 年度光潮同窓会役員		25
編集後記		25

平成二十七年年度
光潮同窓会総会のご案内

日 時 平成二十七年八月十五日(土)
十一時～

場 所 ホテル松原屋

光市虹ヶ浜三丁目九一十六
(電話〇八三三二一七一〇〇四七)

次 第

11時～11時30分 総会

11時45分～14時 懇親会

会 費 三千元

本年の当番幹事は、卒業年次の末尾の数字
が、昭和は5と0、平成は7と2の卒業生の
皆さんです。

当番幹事の学年は、この機会に合わせて、
同期会を是非開催してください。

表紙の題字

柏 木 裕 美 さん
(昭和53年卒)

表紙の絵

中 村 三 枝 子 さん
(昭和34年卒)

「お前は お前のままでいいんだよ」

会長 守田 義昭 (昭和42年卒)



同窓生をはじめ関係の皆さん、平素から光潮同窓会に対するご支援とご協力に感謝いたします。

私は、同窓会の目的、役割として、1 点は卒業生相互の親睦と交流、2 点は卒業生に対する支援、3 点は母校と在校生への支援と協力だと考えています。

とりわけ、私は、在校生に対する応援に力を注いでいます。

最近の母校の状況につきまして、生徒の服装や態度、素行面などは改善傾向にあります。一方、大学等の進学の現状を見ますと、まだまだといった状況が続いています。

さて、バルセロナ・アトラントの両オリンピックの女子マラソン

で 2 大会連続のメダルを受賞した有森裕子さんが書いた『わたし革命』(岩波書店)という本を読んで、すごく感動しました。

バルセロナで、日本女子陸上競技として 64 年ぶりのメダルを獲得した有森さんは、トップアスリートとして素質に恵まれていたわけではなく、実際、マラソンランナーとして頭角を現したのは社会人になってからでした。

この本では、有森さんが、小さい時から自分のハンデやさまざまな逆境を乗り越えながら、自分の取り巻く環境をすべて味方にして、目標を持って挑戦し続けてきた経験から、挑戦する大切さが書かれています。

有森さんは、決して生まれつき体格がよかったとか、才能に恵まれていたとかそんな事はなかったと言います。何をやっても人より上手にできることがなく、自分は短所ばかりだなあと、いつも悩ん

でいたと言います。

有森さんが小学生の時、体育の先生に「私は短所ばかりじゃ」と、毎日のように愚痴を言っていたら、先生は、ある日、彼女にこう言ったそうです。

「短所の何が悪いんだ？それはお前にしかない特徴だろう？人がどうこうとか関係ない。お前は 前そのままがいいんだよ。」

私は 19 年前のアトラント女子マラソンで 3 位に入賞した有森さんのレース後の言葉を思い出します。「はじめて自分で自分をほめたいと思います。」

はじめて、自分で自分を認めることができた言葉だったのです。

高校時代、都道府県対抗女子駅伝の開会式で聞いた、歌手の高石ともやさんが朗読した詩の一節が、故障に泣かされ続けた末の銅メダルに、有森さんの口から思わず突いて出たそうです。

頑張ってきた自分をわかってい

るのは自分自身だ。人がほめてくれるのを待つより自分で自分をほめるのが自然だと有森さんは話しています。

ところで、私は、勤務している光市民ホールの昨年の「市民夏季大学」で、有森さんを講師としてお迎えした際、本人にお会いし、本に書かれたとおりの示唆に富んだお話しとお人柄にふれることができました。

有森さんから直接「世の中になった一人しかない自分の生き方にこだわること」「素質ではなく、これからのようにしていくかが重要」とお聞きし、あきらめないこととの大切さを教えられ、彼女の生き方にあらためて共感を覚えました。

最後に、卒業生の皆さんへお願いですが、どのようなことでもかまいませんので、母校が少しでもよくなりますよう、忌憚のないご意見やご提案を同窓会にお寄せください。

同窓生をはじめ関係の皆様のおすすすめのご活躍とご健勝を祈念し、結びとします。

魅力ある学校づくりに向けて

校 長 河 口 郁 史



私は、この春、歴史と伝統に輝く本校に着任しました。よろしく願っています。

まずもって、今年も、光潮同窓会総会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。また、光潮同窓会の皆様方には、母校のために平素から物心両面にわたる御支援・御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、本校は、文武両道の校風の下、「知・徳・体・情の調和のとれた、社会の発展に寄与し得る生徒の育成」を教育目標として、これまで一万九千名を超える卒業生

を送り出してきました。

昨年度末の全日制卒業の百五十六名の進路状況につきましては、国公立大学に二十三名が合格し、ここ数年、僅かながら増加傾向にあります。また、例年同様、

早稲田大学、中央大学、立命館大学など、難関私立大学への合格者もありました。特に、今春は、国公立大学や難関私立大学への進学をめざす生徒からなる特別編制クラスの一期生が卒業しました。しかし、特別編制クラスの進学実績は、まだその所期の目的を十分達成したとは言い難く、教職員一同、進学指導の更なる充実を大きな課題として受け止めています。

こうした中、四月には全日制百三十九名、定時制四名の新入生を迎え、全日制、定時制合わせて全校で四百六十九名の生徒が、本

校で学んでいます。生徒達は、「文武両道」の校風を受け継ぎ、勉学や部活動に熱心に取り組んでいます。

教職員も、一丸となって、教育活動の一層の充実を図っており、今年度は特に、「学力の伸長を図る教科指導の充実」や「主体的な進路決定を促す進路指導の充実」など5点に重点を置き、各分掌・各学年が計画的・組織的に取組を進めているところです。

その中で、学習指導については、学習合宿や他校と合同の勉強セミナーの実施、朝の読書活動の導入（二年生）など、個に応じた学習指導の改善・充実を図っています。進路指導においても、大学訪問や大学の先生を招いての授業体験など、主体的な進路選択を支援する積極的な取組を推進しています。

部活動の面では、全日制では、ヨット部、陸上競技部、新体操同好会が中国大会に出場し、中でもヨット部は全国大会、さらには世界大会に出場が決まっています。野球部も、春季高校野球大会では、

二年ぶりに県決勝大会に進出しました。文化部では、放送部がNHK杯全国放送コンテストや全国高校総合文化祭に出場するなど、各々が確実に実績を上げています。また、定時制においても、一年生二名が県の定通制体育大会の陸上競技で優秀な成績を収め、全国大会出場が決まりました。全国大会出場は、本人達の大きな自信に繋がっています。

私は、本校に着任以来、光潮同窓会の皆様をはじめ地域の関係の方々から、本校に対する熱い思いや激励の言葉をいただきました。

今後とも、こうした御意見等も踏まえながら、地域と連携して、教育活動の改善・充実を図り、生徒にとって本当に「行きたい学校」、また、地域から信頼される「光輝く光高校」づくりを推進して参りますので、同窓生の皆様には、変わらぬ御支援・御協力を重ねてお願いいたします。

おわりに、光潮同窓会の益々の御発展と同窓生の皆様方の一層の御活躍をお祈り申し上げます。

支部だより

関東支部から

関東支部広報誌「うしお」44号(平成27年5月発行)より

関東支部事務局長 藤井 政道 (昭和47年卒)

平成26年度関東支部総会

二年ぶりの総会ながら大盛會!!

平成26年度の光潮同窓会関東支部総会が10月25日(土)、東京・四谷の主婦会館プラザエフで開催された。25年度総会は、台風が2つ同時に関東接近中で中止されたため、2年ぶりの総会になったが、関東在住の同窓生ら約90名が出席して大盛會だった。光から来賓として守田義昭・光潮同窓会会長、小林真理・光高校長、市川熙・光市長、光潮同窓会関西支部から地家正男さんらが出席、それぞれ挨拶した。

総会は藤井事務局長の司会で支部の活動報告、会計・監査報告の後、役員改選があり、中原靖生会長から松尾清新会長への交代が承認された。

(中略)

恒例のお楽しみ抽選会には、カシノ(株)、網重水産、(株)友松商店、



中原靖生さん(右)へ松尾新会長(左)より感謝状贈呈

(有)ときよし鮮魚店、光月堂、河村醤油、三井ヘルプ、椿窯、伝承窯、美土里陶房、室積光さん(本)、瀬戸内タイムスの他、今年から新たに、アトリエ「仁」(元光高教師・兼清仁志さん・S47)からも商品の提供があり、例年以上に盛り上がった。

最後に新・旧会長の挨拶があり、6年間に渡り会長を務めた中原靖生さんに松尾新会長から感謝状が手渡された。光高校歌を合唱して閉会した。(まとめ藤井/S47年卒)

編集後記

今年の2月から3月にかけて光市を舞台としたソフトバンクのテレビCMが放送されました。そのCMの中で「光まんじゅう」が登場します。「光」の文字が焼印された白い饅頭で、パッケージには松原越しに光の海を眺めているお父さん犬の姿が描かれています。この饅頭はCMのための架空のお菓子だったので、問い合わせが相次いだことから現在はシェ・ヒロダン(光月堂)がCMそっくりの饅頭を作って販売しています。1日10箱しか作らないので購入するためには予約が必要なようです。ただ残念なことに、パッケージにあるのは松原と光の海だけ。お父さん犬の姿は描かれていないようです。(中村文彦/S55年卒)

＝ 関東支部事務局ご案内 ＝

〒164-0012 東京都中野区本町6丁目34番21号
アポロ環境衛生(株)内
事務局長 藤井政道 (昭和47年卒)
TEL 03(5340)3055
FAX 03(5340)3088
Eメール info-b@apollokannkyou.co.jp

平成27年度

関東支部総会のご案内

日時 10月24日(土) 13時
場所 主婦会館プラザエフ
東京都千代田区6番町15
電話〇三(三三六五)八二二
最寄り駅 JR四ツ谷駅
(麴町口より徒歩1分)



支部だより

光潮同窓会関西支部の現況と展望

事務局 田村 周治 (昭和41年卒)

1、現状

光潮同窓会関西支部では、毎年、大阪市内で、関西支部総会を開催している。

しかしながら、ここ数年は参加人数も低迷している。

因みに昨年度・平成26年度関西支部総会において、案内した人数、参加した人数などの実績を示してみよう。

まず、総会の案内を出したのが265名、なお、名簿全体としては500名近くある。

これは、筆者が約20年まえに事務局を引き継いだ時点ではほぼ届いていたものが、20年間で住所移転とか、亡くなられたとかで案内が届かなくなったということだ。(なお、500名→265名になった過程では、筆者が卒業生名簿から拾って書き加えた人もいるから、単純に減少したということでは

はなくて、多少の増減を繰り返しながら、徐々に減っていったという(こと)

総会開催の案内(往復はがきを使用)を出して、出欠の返事のはがきが返ってきたものが、99通、そして参加者が13名(関西地区在住者)という結果であった。

そして、最近では卒業生名簿というものが存在しないため、可能性のある人の住所・氏名を拾うこともできないという状況が続いている。

2、展望

関西支部の事務局をかれこれ、20年近く担当させて頂いた。

上の現状で説明した通り、少数でも継続できる限りは、筆者も自営業をしている故に、事務局として続けていきたいと考えている。

関西支部の延命は、関西圏在住の光高校卒業生の「住所・氏名」をできるだけ多く、事務局が把握することにあるものと思える。

関西圏在住の光高校卒業生の皆様

に訴えたい。

ぜひ、関西支部総会へのご案内を差し上げたい。

以下のメールアドレス
Mail: fkantamr@zeus.eonet.ne.jp
へ「卒業年度、住所、氏名」のご連絡をお願いしたい。

3、その他

関西支部総会では、毎回、光高校OB等から多くの光名産を頂き、抽選で参加者へお渡ししている。そういうお楽しみもあるので、ぜひ、光潮同窓会関西支部総会へご参加ください。

平成27年度	
関西支部総会のご案内	
日時	11月7日(土)
	12時30分～15時30分
場所	がんこ難波本店
	〒五四二〇〇七六
	大阪市中央区難波3-1-15
	電話〇六(六六四四)六三九六
	FAX〇六(六六三三)六六四六

礎に感謝 そして未来へ

平成 27 年度総会・懇親会実行委員会 委員長 松 並 宏 昌 (平成 2 年卒)



気、通風のため、窓は建築物に欠かせない建具の一つである。また、景色を楽しむため必要であり、窓により建築物の表情が変わってもくる。

卒業後 25 年経過した学年が実行委員会を掌る。これを魔の掟と言わずして、何をそう呼ぶのだろうか。ついに、とうとう、巡りめぐってきた。あの恐るべき幹事学年が…。

家やビルのガラス窓しか思い浮かばない無知を恥じるが、いい歳になるまで「窓」の意味を知らなかった。この字には、「学校」「学舎」という意味があるらしい。とはいえ、馴染み深いのは、やはり建築物の窓であろう。採光や換

された革命により私たちは、情報収集が飛躍的に容易になり、それだけでなく、全世界に情報を発信することも可能になった。

建築史をひも解いてみると、平安時代後期に建立された世界遺産・平等院には、鳳凰堂の中央の格子に小窓があるそうだ。この窓は、内から外を見るためではなく、堂内に端座する国宝・阿弥陀如来坐像を外から拝めるように設けられたものだという。

今や常識となったインターネットを世に知らしめたのは、ちょうど 20 年前の Windows 95 の発売だ。この命名の由来には諸説あるようだが、間違いなく、ネットという未知の世界への入り口である「窓」となった。当時 IT と称

閉ざすことなく、次世代に継承していかなばならない。そしてまた、きっと彼らは、私たちのこうした姿を窓越しに見ていることだろう。

「お前が同級生の窓口になるんじゃないか。」地元で奉職後ほどなくして、ある先輩から一方的に言われた言葉だ。ようやく、この呪縛から解放される。うれしいような、少し寂しいような。

多士済々の先輩方が永い歳月をかけて磨き上げてきた大切な窓。

この窓を通して私たちは、社会に踏み出そうとする後輩の足元を照らす。さらに、未来に羽ばたこうとする彼らの背中を押す風を送る。だから私たちは、脈々と受け継がれてきた誇り高き「社会の窓」を



「教師になって子どもたちにも 走る楽しさを伝えるのが夢でした」

濱田真由美さん (昭和 61 年卒)

日体大の長距離部門で、いくつもの種目で当時の最高記録を出し、後輩たちから畏敬の念をもって崇められてきた濱田真由美さん。少女のような笑顔からは想像もできない、その活躍の軌跡をご紹介します。

「走る」ことを嫌いにさせない指導者との出会いが私を走り続けさせてくれた

すごい長距離ランナーという先入観のせい、一見、重力とは関係ないように軽やかな印象の人だ。日本体育大の彼女の後輩に聞くと「日体大陸上部には歴代記録保持者が掲示してあるのですが、トラックの 3 千、5 千、1 万 m、ロードのハーフマラソンと、ざらっと『濱田真由美』の名前が並んでいるんですよ」という。

子どものころから身体を動かすのは好きだったが、走り始めたきっかけは、スポーツ少年団 (スポ少) 陸上に入ったことだった。

「近所のおにいちゃんたちが楽しく遊んでいるところだと思って、ス

ポ少に申し込んだんです (笑)」

このとき小 3。陸上とは走ることだということはスポ少に入ってから知った。

平生中学に進学し、陸上部の顧問だった国本悦郎先生に出会う。

「国本先生に、嫌いにならずに走り続けることを教えてもらったと思います」

中 2 で突然の挫折を経験する。一回目は足首の疲労骨折だった。

「痛いとは思っていません。で

も試合だからと思い、テーピングして走りました」

走っている間は感覚がマヒするせいか痛みはなかったが試合後に骨折が発覚。走れなくなつて 4 ヶ月後、今度は室内でうっかり足の親指を骨折した。

「結局、1 年間、棒にふりました」

治療とリハビリの日々。しかし、

その間に長距離を走る身体を維持する食事や栄養について勉強する機会が持てた。リハビリに関して、足指でのタオルギャザーなども、骨折部位を使わないトレーニングを国本先生に指導してもらった。

「家族が協力してくれたことも大きかったと思います。その後は、多

少の腰痛や足首痛くらいはあっても、何カ月も練習できないような大きな怪我はしていません」

まったく走れなかった 1 年間。「すごく走りたい!」と思っていました。後から考えれば、この走れない期間が、走りたい気持ちを強くしてくれたのかもしれない」

飛躍のかけで

500 グラムに泣いた高校時代

復帰した中 3 で第 1 回都道府県対抗駅伝に出場した。当時は中学生の区間が決まっておらず、真由美さんは、初出場でいきなりアンカーを走った。

「10 km でした。練習でも走ったこと



カメラ 小林一登 (昭和 43 年卒)

Profile

はまだまゆみ。中・長距離ランナーとして平生中学校、光高校、日本体育大学で活躍。大卒後は山口県に帰郷、県立高校体育教師として西京高校・光丘高校・柳井商工高校などで勤務する傍ら競技も継続し、長年にわたり県の記録を保持するなど中・長距離界を席卷した。現在は田布施総合支援学校勤務。

のない距離です(笑)」

高校進学は、国本先生の師でもある故・山本修三先生のいる光高へ進んだ。丘の上に広がる光高グラウンドで山口県陸上界の雄だった山本先生の薫陶を受ける日々。先生の熱心な指導は今も語り継がれる通りの素晴らしさで、真由美さんも多くを学び、楽しんで走ることができた。

公認の陸上競技場があるという光高ならではの恵まれた練習環境。グラウンドでは武田製薬や新日本製鐵(新日鉄)の選手も練習していた。「よく声をかけていただいて、とて

も励みになりました」

ほかの先生方も協力的で、テスト中には自宅まで 20 km 近い距離を走る真由美さんのために自宅が近所の先生がカバンを持ち帰ってくれることも多かった。

本人の言によると、自身には瞬間的な発力もないし、努力家でもないという。

「ただ走ることに関しては努力しました」

高1から3年連続して800mで国体に入賞を果たし、インターハイにも高2、高3と連続して出場した。

軽々と走っていたように思える

が、意外なことに高校時代は体重に振り回されていたという。

「とにかく軽いほうが走りやすいという情報はしつかり頭に入っていました。みんなが食べていると食べてしまおうし、イライラして家族に当たったり。500グラム増えたといって布団をかぶって泣いたこともありました」

当時の真由美さんは150cm弱

で42キロ前後だった。体格の基準になるBMI(※)は18.6。18.55以下は「やせ(低体重)」に区分されるから一般的には「やせ」ぎりぎりだ。長距離ランナーにとって、それほど体重増加は悪いことなのだろうか。

「全体重が片足に乗りますから」

一般的に走るとき足にかかる負荷は体重の3倍といわれる。「わずか500g」でも一歩で1.5kg、10km走ると1歩1mとして1万5kgもの負荷増という計算になる。

「アテネで金メダルをとった野口みずきさんが私と同じくらいの身長

で41キロ程度だったと思います」

BMIは18.2で、分類では「やせ」。でも彼女が繰り返し出す長いストライドはパワフルだった。

「とても筋力が強かったんだろうと思います」

体重は減らなかつたが真由美さんのタイムは縮まり続けた。

トラックでもロードでも

花形だった日体大時代

大学時代は長距離のエースとして、次々に自己記録を更新していく。タイムは面白いように縮まった。短距離では10分の1秒、100分の1秒レベルが問題になるが、中・長距離では何分、何十秒レベルでタイムが縮まる。

「だから、すごく手ごたえがあるんです」

達成感と自信、さらなるタイムを目指す向上心が試合の度に積み上げられていく。

3年ではインカレ(日本学生陸上競技対抗選手権)の3kmで優勝。そのタイムは今も光市の最高記録として残っている。

(※) BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) の二乗。正常値は 18.5 ~ 25

「印象に残っているのは3年で都道府県対抗駅伝7位に入賞したことかな」

アンカーだった真由美さんは入賞を狙える順位でタスキを受けた。「数人のグループ内にいたから競い合いながら走れました。走っていると、ゴールで待っている仲間の顔が浮かんできて…」

まさに駅伝の醍醐味だ。

開催地は京都だが、他県の選手たちが電車を乗り継いで移動する中、大阪や京都在住の山口県人会のメンバーが練習から試合当日まで移動の車を出してくれた。

「県人会の方々のそういう具体的な援助にも助けられて、とても恵まれていました」

4年になると、日体大陸上部の女子主将としてチームを引っ張る役目も担う。一方で、フルマラソンにも初挑戦して2時間52分という好記録を残した。

「ニューカレドニアのマラソン大会でしたから、海外に行ける！と思っ(笑)」

語る動機はお気楽だが、走破し

て得たものは大きかった。

「この身体で42kmを走ることができたという達成感はマラソンならではの大きなものでした」

当然、大卒後はそのままプロへ、あるいは実業団へ、という誘いもあったが、迷わず山口県に戻り、高校教師の職に就く。

「先生になることが中学生のころからの夢でしたから」

勤務のかたわら、選手としての活躍も続けた。フルマラソンでも学生時代から計6回の出場でタイムは2時間39分まで縮まった。

ネットは練習する時間が足りないことだった。実業団の選手たちのように計画的に40km、50kmと走るわけにはいかない。

「マラソンの試合前に、せめて1回は42km走ろうと思うんですが…」

それさえ叶わず、近所をぐるぐる走って終わり。陸上部の生徒とスピード練習したこともあるが、トラックの練習とロード、ましてマラソンとなると全く練習法が違う。

この練習時間不足が決定的な障



このところ、グラウンドにいるのは「いろいろな陸上大会などの審判としてだけ」と笑う

カメラ 来戸由起子（昭和47年卒）

害になり、30才ごろには競技ランナー生活は終了した。

「ランナーを育てる」

という夢は続く

引退後は、都道府県対抗駅伝の山口県チームの監督を4年間つと

め、20位代の成績も残した。指導するのは教師の本業だが、こと駅伝となると、登り・下りのあるなしや距離の長さ、ひとり1人の適性や体調、個性などを考慮して出場者を選び、だれがどの区間を走るか決めなければいけない。



昭和 60 年度全国高等学校総合体育大会（石川県）陸上競技選手権大会にて。
2 位にいるナンバーカード 282 が濱田さん

そもそもメンバーはふだん、ひとつのチームに所属しているわけではない。試合などで顔見知りにはなっているけど、最初からチームワークができていくわけではない。

「自分で走るより監督の方がずっとむつかしいですね（笑）。山本修三先生が監督だったときに駅伝メンバーに入れてもらったことがあり、あのとときの修三先生のようにしようと思いましたが程遠かったです」

長距離走という、決して楽ではない、むしろ敬遠されがちな競技を「嫌いなにならない」ように指導してくれた先生たちへのオマージュ。つらいこともあるけれど、それを乗り切って記録が伸びたときの達成感。そして何より、走ることの楽しさを次世代へつなぐたい。

現在は駅伝の監督も山村進監督（元聖光高校教諭）にバトンタッチした。在任中の支援学校には陸上部がないため、週末は各地の陸上大会で審判を務めることが多いという。

最後に。これまでで一番、印象

に残っていることは？と聞くと、即答が返って来た。

「周防大島で行われた大会に生徒たちが自らエントリーして参加してくれたこと」

『サザン・セト大島ロードレース』である。真由美さんが指導していた光丘高校陸上部が、長距離の生徒はもちろん、短距離の生徒も、部活を引退した3年生までが自らエントリーして走った。

真由美さんの将来の夢もこの姿にある。

「自ら楽しんで走り、長く走り続ける選手を育てたいと思います」

いかにも彼女らしい笑顔とともに、軽やかな答えが返って来た。

（まとめ 昭和 47 年卒 来戸由起子）



県立光中学校へ入学して七〇年

佐伯 亮 二 (昭和 26 年卒)

光中学校(旧制)へ入学して七〇年。六年間、お世話になった母校、在学中に四回校名が変わった。

県立光中学校の頃

昭和二〇年四月、県立光中学校に四期生として入学。米軍の本土空襲も頻繁になり、入学試験は急遽中止。母が半ズボンにありあわせの布を縫いつけて長ズボンにしてくれた。

この長ズボンを履いて脚絆を巻く練習に励み、入学式を待つ。

入学式の日、山陽本線をまたいで架かる鉄骨の大きな橋、光龍橋を渡り登校する。この橋の鉄骨は、一二期生が運んだという。

この先輩も陸軍少年飛行兵・海軍甲種飛行予科練習生等に入隊した人を除き、一期生(四年生)は昭和一九年七月、二期生(三年生)は二〇年四月、同年五月、三期生(二年生)も光海軍工廠へ学徒動員。学校には私達四期生(一年生)だけになった。

私達も鉛筆を手にする時間は殆ど

無く、運動場はもちろん中庭すべて甘藷畑にする。光海軍工廠の運動場(現在の浅江中学校)も甘藷畑に。

「作業ごころうだった。」大豆粕に飯が混ざったむすびが配られる。かぶりつく。そのおいしかったこと。

入学時の必需品は教科書でなく、三鉢・平鉢・薄鎌・厚鎌の時代である。教室の片隅でひとけのないことを確かめて、「広島に新型爆弾が落とされた」とヒソヒソ話をしたのも八月十日前後だっただろうか。

三日間の夏休みの第二日。八月十四日昼下り、光海軍工廠は B 29 延べ一五七機の爆撃を受ける。学徒動員中の光中学校生徒にも三柱の犠牲者が出る。光潮碑や光峨岬山護国神社の慰霊碑にもその名が刻まれている。

戦争が終ると、先輩も兵隊学校や工場動員から帰校し、一挙六〇〇名の生徒で教室はいっぱいになる。鉛筆を手にする時間も増えた。しかし、書くノートもない、工廠の伝票の裏

を使い、帰宅して糸でとじる。

二二年三月、学制改革初年次。国民学校(八年制)を廃し、小学校(六年制)・中学校(三年制)が新設される。

「四月から新しい中学校ができる。

好きな中学校へ行け。始業式の日までに決めればいい。」

ゆとりの選択一回めである。少数ながら市立の新制中学校三年に転じた友もいた。

県立光中学校併設光中学校の頃

白表紙ながら製本された『新しい憲法のはなし』を手にする。戦後最初に配られた教科書である。将に、『今ぞ明け行く新日本』を実感する。

体育館正面、野球部員の左袖に輝く校章。この校章をデザインしたのは当時併設中学三年、同期の岡田一夫である。その経緯は、光潮会報四十号に彼自身が記している。彼が亡くなったとき、霊前に球場の風にはためく校章旗の写真を供えた。

昭和二三年三月、光中学校併設光中学校一回限りの卒業式を迎える。式場は床板のない土の講堂であった。

学制改革二年次。昭和二三年度から中等学校(中学校・高等女学校等)を廃し、高等学校が新設される。

県立光高等学校(統合前)の頃

開校式。二度目の無試験入学。

昭和二四年度は学制改革最終年次。全国的に新制大学誕生。山口県では、高等学校再編成。光高校と光女子高校を統合、男女共学になる。光高校は西教室、光女子高校は東教室となる。

二四年三月、「好きな方の教室へ行け。始業式の日までに決めればいい。」ゆとりの選択二回めである。

昭和二六年三月、卒業。卒業者は東教室七七名・西教室一二五名。一九七六(昭和五一)八月、高校卒業二五周年を期に同期会を始める。

時に四三歳。記念に母校へ貝塚伊吹五本寄贈する。学校の管理のおかげ、現在も元気である。爾来十五回開いた同期会も八〇歳を最後とした。

戦後七〇年、二〇年生まれも古希。野球場からは回天特攻隊が訓練した海、セーリングで世界一を目指す後輩の白い帆が走る青い海が見える。

◎参考文献 『山口県立光高等学校六十年史』山口県立光高等学校・創立六十年記念『光潮会報第一号』第四十号(いずれも光市立図書館蔵)

光潮同窓会ホームページ立ち上げ



文字サイズ



新着情報
光潮同窓会について
光高校の実績
会員の活躍
校歌・応援歌
掲示板

▶ 同窓会総会のお知らせ

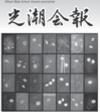
平成 27 年度
光潮同窓会総会のご案内

日時 平成27年 8月15日(土) 11時から

場所 ホテル松原屋
光市虹ヶ浜3丁目9-16

当番幹事は、卒業年度の末尾の数字が昭和は5と0
平成は7と1の卒業生の皆さんです。

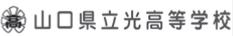
▶ 同窓会報バックナンバー



光潮会報
第67号
平成26年8月

バックナンバーは
こちら

▶ リンク







▶ 掲示板

- ▶ 2015年7月26日 **掲示板** 高校時代の出来事で一番印象に残っていること **New**
- ▶ 2015年7月21日 **Twitter** そうそう！光は山口大会ベスト8入りなんよ！！母校だからめっちゃ応援してる！！この勢いで次の下関国際にも勝ちちゃって今日の内から折ってるわw

▶ 掲示板一覧

▶ 新着情報

- ▶ 2015年7月24日 **同窓会総会** 平成27年度 同窓会総会及び懇親会のお知らせ **New**
- ▶ 2015年7月24日 **お知らせ** 平成27年8月15日(日)正午から光潮同窓会ホームページ運用を開始します！ **New**

▶ 新着一覧



事務局

〒 743-0011 山口県光市光井6-10-1

TEL 0833-72-0340 (光高等学校内)

サイトURL <http://hikari-dousokai.net>

▶ お問い合わせ
▶ サイトマップ

Copyright (C) 2015 Kochodosokai All Rights Reserved.

光潮同窓会ではホームページを本年度8月15日から運用を始めます。このホームページには多くの情報を掲載します。例えば掲示板のコーナーではTwitterやFacebookでつぶやいたことを光高等学校のキーワードで検索し掲載します。会員の活躍コーナーでは輝いている卒業生の方を紹介したいと考えています。会員の皆様からのご意見をメールでお寄せください。このホームページを有効に活用していきたいと考えています。(メールアドレスはホームページ内にあります。)

光潮同窓会 で検索 URL <http://hikari-dousokai.net>

平成27・28年度 光潮同窓会役員

職 務	氏 名	卒	担 当	職 務	氏 名	卒	担 当
顧 問	河口 郁史		光高校校長	幹 事	木村 則夫	S 49	企画・運営
顧 問	牛島 守彦		光高校事務長	幹 事	松原 祐介	S 61	組織・会則 全日制PTA会長
顧 問	小林 信行		光高校教頭	幹 事	芳岡 統	S 62	広報
顧 問	沖田 道世		光高校教頭	幹 事	山根 猛寿	S 62	広報
会 長	守田 義昭	S 42		幹 事	濱岡 正美	S 63	広報
副会長	小林 一登	S 43	◎広報	幹 事	小野美智恵	S 63	広報
副会長	富田木綿子	S 54	広報	幹 事	松並 宏昌	H 2	広報
副会長	田中 謙史	S 61	企画・運営	幹 事	佐々木孝高	H 3	広報
幹 事	市来健之助	S 32	◎企画・運営	幹 事	北川 宣孝	H 8	広報
幹 事	酒井 隆行	S 35	◎組織・会則	監 査	泉屋 孝	S 35	
幹 事	木村 幸子	S 37	企画・運営	監 査	小林 敬典	S 45	
幹 事	松尾 尚慈	S 39	企画・運営	事務局	沖田 道世	S 55	
幹 事	大川 博幸	S 43	広報	事務局	宮秋 孝史	S 57	
幹 事	兼清 照久	S 45	組織・会則	事務局	橋本健太郎	H 4	
幹 事	河村 幸昌	S 47	組織・会則	事務局	水上由美子	H 2	
幹 事	来戸由起子	S 47	広報				

◎部長

編集後記

広報部長に誘われて、今回の光潮会報のメインとした濱田真由美さんの光高校での取材に同行した。

プロのライターである来戸さんの邪魔にならないように、静かに聴き役に回ったが、濱田さんの小学生から現在に至る陸上の経歴を知り、彼女の走ることへの情熱とその輝かしい足跡に圧倒された。過去の自分に、濱田さんのように一途に打ち込んだものがあるだろうか。私にもあった青春時代を振り返ってみると、スポーツでもない、勉強でもない、ノラリクラリとした日々であった。

後悔先に立たず・・・。

しかし、退職し、有り余る時間を持って余している今、今こそ何か新しいことに挑戦するチャンスではなからうか。

自分がこれから取り組めるものは何か？

少しワクワクしながら、元気が取り柄の配偶者にアドバイスを求めたら、「今のあなたは、頭が硬化、体も降下、今さら何を言っても効果なし」と切り捨てられた。

若い世代の皆さん、退職して自由な時間ができてから、好きなことをやるうではダメですよ。知力・体力・気力のあるうちに、仕事に興味に全力投球して下さい。「いつやるか。今しかないでしょ」

光潮同窓会広報部員 大川博幸（昭和43年卒）

山口県立光高等学校校歌

光高校校歌選定委員会 作詞
信時 潔 作曲

♩=108 ca. 力強く
mf

1. きた ぼか うき のり ひ か りの さ み す ん ねい とにを しさと てくり
 2. た かる くぶ そん か の
 3. ひ づ ぶ

いまま ー まこも ぞとる あもせ けとい ゆめぎ くの しあじ んさゆ になう ほゆじ んうん

すけし おいか うせい のつの なまと だども のにと あふて らみを しをと おより ー ー にみて

きせゆ たんる えこが みぬ がふへ かまい んのわ みそう とうち こをた こねて ろるん }

か が や け ひ かり あ ー げ よ そ の な

わ が ま ー な ー び や に さ ー か え あ れ



発行 山口県立光高等学校光潮同窓会
山口県光市光井 6-10-1
TEL 0833-72-0340 (光高等学校)

印刷 中村印刷株式会社